

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ

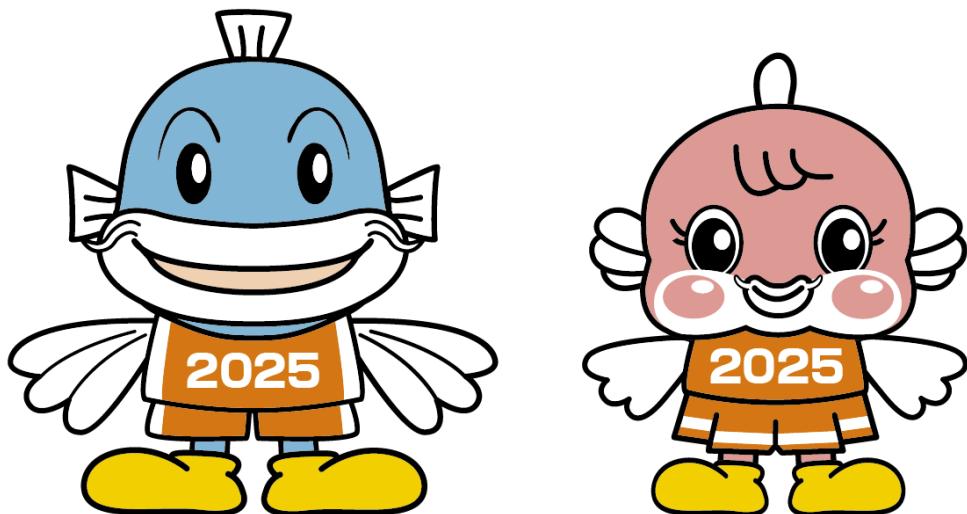
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



わた SHIGA 輝く国スポ相撲競技会

緊急時対応マニュアル



会期 令和7年9月29日(月)~10月1日(水)

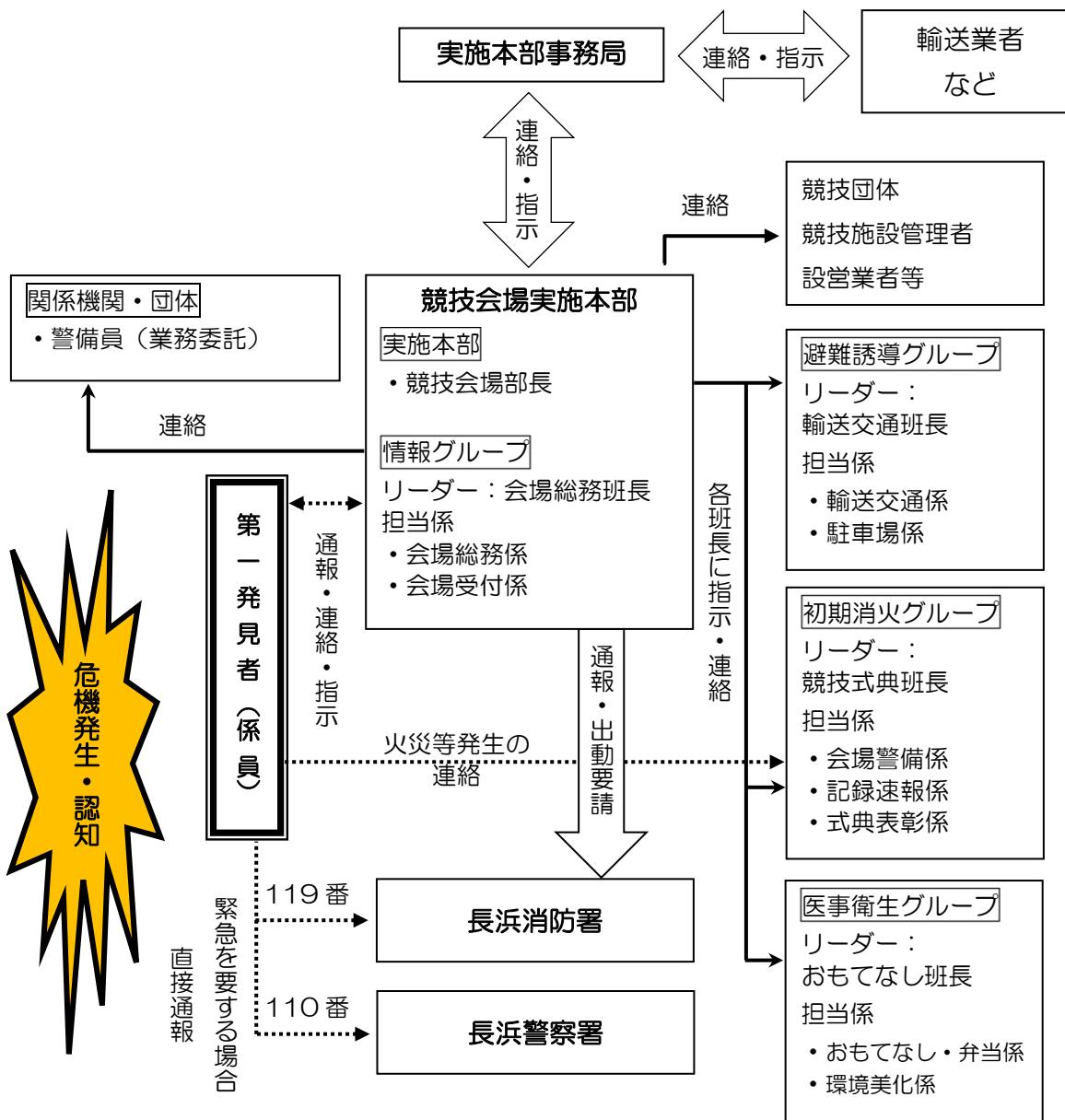
会場 県民共済ドーム長浜(滋賀県立長浜ドーム)

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会

目 次

1	危機発生時における競技会場の通報・連絡体制	1
2	風水害	
	(1)予防及び対応	2
	(2)対応フロー	3
3	火災	
	(1)火災発見・発報時	4
	(2)初期消火のしかた	5
	(3)救急・救命のしかた	6
4	自然災害	
	(1)地震が発生したとき	7
	(2)落雷事故の恐れがあるとき	9
	(3)豪雨・暴風対策(仮設物の撤去等)	10
5	不審物	
	(1)不審物を発見したとき	11
	(2)爆破予告電話がかかってきたとき	12
	(3)爆発・異臭事故が発生したとき	13
6	医事	
	(1)傷病者が発生したとき(救急搬送しない場合)	14
	(2)傷病者が発生したとき(救急搬送する場合)	15
	(3)嘔吐者が発生したとき(食中毒等の疑いを含む)	16
	(4)食中毒(疑いを含む)発生時の緊急連絡体制	17
	(5)感染症(疑いを含む)発生時の緊急連絡体制	18
	(6)熱中症が発生したとき	19
7	緊急時輸送交通マニュアル	20
8	防災・防犯チェック表	21
9	競技会場避難経路図	22

1 危機発生時における競技会場の通報・連絡体制



119番通報のしかた

『落ち着いて』、『ゆっくり』、『はっきりと』

119番受付員	通報者	
	火災の通報例	救急の通報例
火事ですか？救急ですか？	火事です。	救急です。
場所はどこですか？	(例) 県民共済ドーム長浜です。	
火災の場合 何が燃えていますか？	○○が燃えています。	
救急の場合 どうしましたか？		(誰か) が (状態) です。
あなたの名前と今かけている電話の番号を教えてください	私の名前は○○○○です。 電話番号は○○○-○○○○です。	

○通報内容や通報される方の状況によって、119番受付員の問い合わせが異なる場合があります。

○場所を伝える際、目標のみでは場所の特定が困難なので、住所を伝えることが必要です。

2 風水害 (1)予防時の対応

1 実施本部事務局は、彦根地方気象台ホームページや防災危機管理課等から、大雨や暴風等の気象情報を隨時確認・収集する。

2 実施本部事務局長は、次の場合、競技会場の状況を確認し、実施本部事務局で翌日の対応を協議する。

(対応を協議する場合の例)

- （ • 翌日に滋賀県全域に大雨警報又は暴風警報が発令される恐れがある
• 台風の接近

3 実際の対応

(1) 実施本部事務局長は、必要に応じ、実施本部事務局に今後の対応について指示を行う。

(2) 実施本部事務局は、競技会場の競技担当への状況確認を行った後、次の関係機関と調整を行う。

ア 輸送業者（運行経路の確認、代替経路等の確認及び変更）

イ 弁当業者（弁当調製施設との調整）

ウ 警備業者（警備時間及び配置の変更） 等

(3) 競技担当は、次の関係機関と調整を行う。

ア 会場設営業者（仮設物等の管理）

イ 競技団体（競技用具の一時撤去、必要に応じ日程変更・中止の対応案を作成）

ウ 施設管理者（翌日の開錠時間の調整）

エ 看板業者（仮設物・看板等を安全な場所に一時撤去）

(4) 競技会場部長は各班長に必要な指示を行う。

(5) 会場総務係長は、各係長に、必要に応じて物品等を撤去するよう連絡する。また、実施本部業務委託事業者、会場警備員に必要な事項を連絡する。

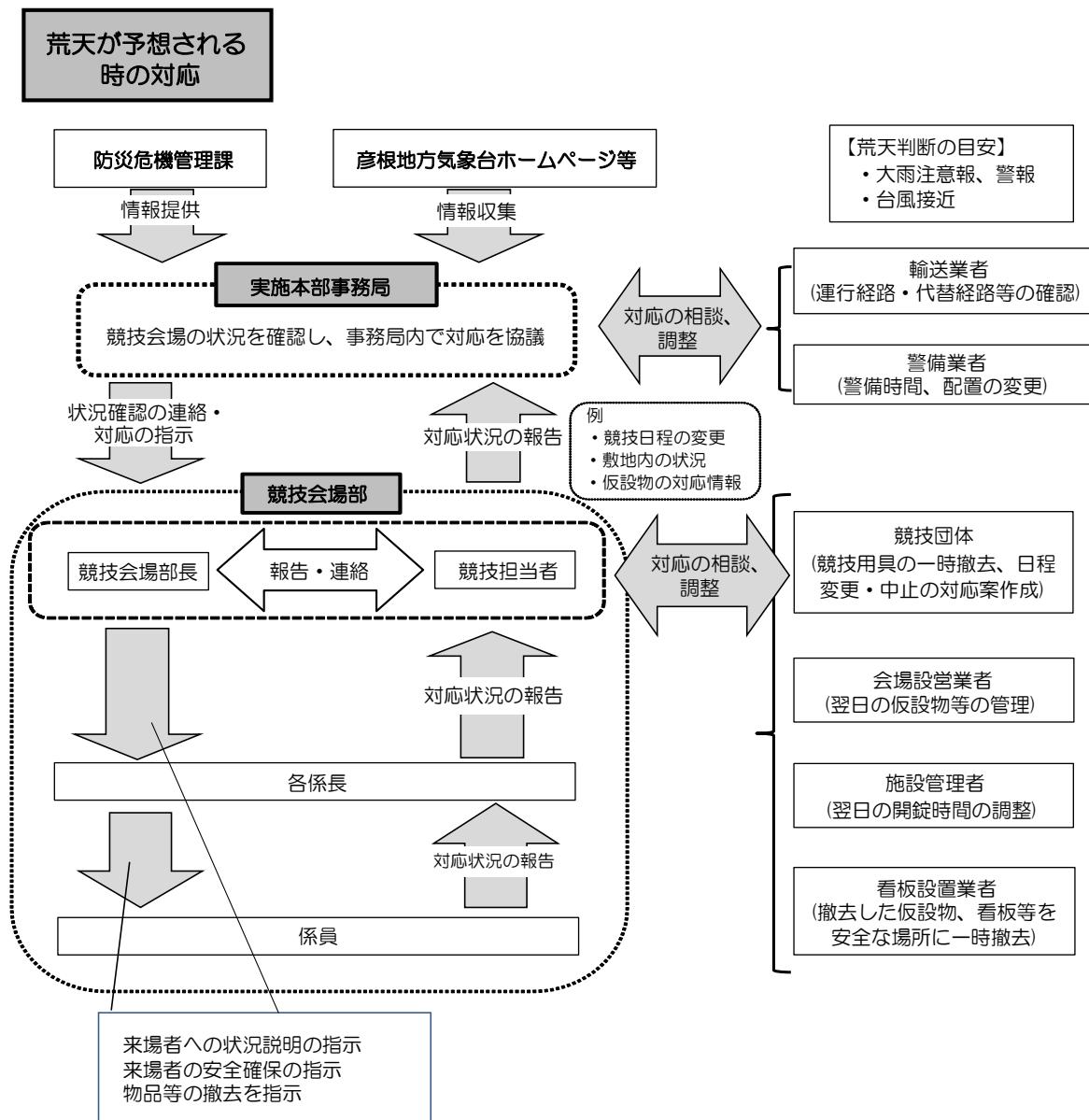
(6) 各係長は、必要に応じ、係員に、物品等を撤去するよう指示する。

(7) 競技担当は、実施本部事務局に、対応状況の報告を行う。

(報告の例)

- （ • 競技日程の変更
• 敷地内の状況
• 仮設物の対応状況

(2) 対応フロー



3 火災 (1)火災発見・発報時

発報（非常ベルが鳴る）

発報場所、現場状況確認

現場付近にいる係員は、施設職員と連携して状況確認をする。

（一般観覧者から連絡を受けた場合も、火災発生場所を確認し、同様の措置を講じる）

施設職員の動き

非常時の館内放送（以下「非常放送」という。）が実施される。

「（例）ただいま〇〇で火災報知機が作動しました。係員が確認しておりますので次の放送にご注意ください。」

係員の対応

- ・情報グループは情報収集を行い、会場総務班長に報告する。
- ・その他の係員（現場近くにある者を除く）は非常放送に注意し、消火器等の位置、避難経路、避難場所を意識する。

【現場状況確認の結果】

火災発生の場合

緊急を要する場合、直接119番通報するとともに、周囲の係員に競技会場部への通報を依頼する。

※係員が第一発見者の場合、火災報知機等により発報、大声で火災が発生したことを周囲に知らせる。

119番通報および初期消火

施設職員の動き

- ・連絡を受けた者は、119番通報。
- ・消火器を使用して初期消火を実施。

係員の対応

- ・第一発見者は、119番通報。
- ・初期消火グループは、施設職員と消火を開始し、状況を競技会場部長に報告する。
- ・避難誘導グループは、避難誘導準備をする。
- ・医事衛生グループは傷病者の医療救護を行う。

避難指示（※）

（※）競技会場部長は、次のいずれかに該当するときは、各班に避難指示を行う。

- (1) 消防職員から避難の指示があったとき
- (2) 施設職員から避難の指示があったとき
- (3) 観覧者等の生命等を保護するため、避難すべきと判断したとき

施設職員の動き

- ・事務所から非常放送を実施する。

（例）「火事です。火事です。〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」

係員の対応

- ・情報グループは、施設職員に非常放送の要請を行い、各グループから情報を集約する。
- ・避難誘導グループ及びその他グループは来場者を避難場所に誘導し、消防車・救急車の通路を確保。
- ・被害確認を行った後、競技会場部長に報告。

(2) 初期消火のしかた

1 初期消火活動

あらかじめ消火器の設置場所を確認しておきましょう。（9「競技会場避難経路図」22ページ参照）

- (1) 消火器を持って現場へ駆けつけましょう。
- (2) あわてず、何が燃えているのかを確認し、煙や炎に惑わされずに、火元を消すように噴射して下さい。
- (3) みだりに窓を開けたり、破壊しないで下さい。
- (4) 小さな火でも完全に消火して下さい。（踏み消すなど）

2 消火時の遵守事項

- (1) 消火に失敗しても避難できるよう、避難口を背にして消火して下さい。
- (2) 消火器で消火できる範囲は、一般的に家庭では天井に着火するまでの間であり、天井付近に火が達したらすぐに避難して下さい。

3 消火器・屋内消火栓の使い方

◆ 消火器の使い方

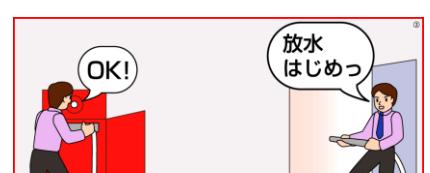
- 1 安全ピンを抜く
- 2 ホースを外し火元に向ける
- 3 レバーを強く握り噴射する



◆ 屋内消火栓の使い方

【1号消火栓・2人で使用】

- 1 ポンプの起動ボタンを押す
- 2 ホースをのばす
- 3 出火箇所に接近したら「放水はじめ！」の合図で、消火栓のバルブを開放（左回転）し、放水する



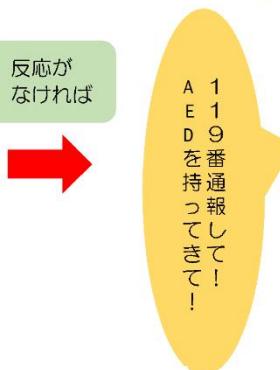
(3) 救急・救命のしかた

◆心肺蘇生法

1 意識の確認



2 助けを呼ぶ



3 呼吸の確認



5 AED電源ON, 電極パッド装着



AED 到着

AED が到着したら電源を入れます。

右胸と左わき腹に
しっかりと貼ります。

4 胸骨圧迫



誰も触れて
いないことを
確認したら

- 胸の真ん中を30回
- 約5cm沈むくらい強く
- 100~120回/分のテンポ

6 周囲の確認（心電図の解析）



7 電気ショック



ショックボタンを
押します。

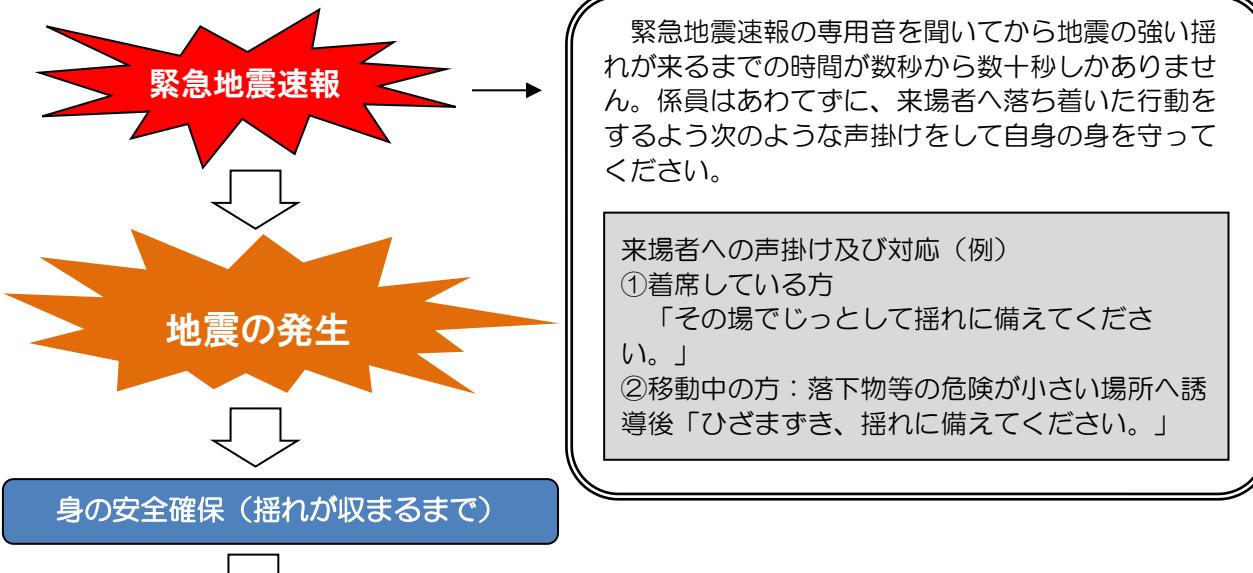
8 胸骨圧迫



電気ショック後はAEDの
指示に従い、ただちに
心肺蘇生法を繰り返します。

救急隊に引き継ぐか、傷病者が目を開けたり、普段通りの呼吸が出現するまで、心肺蘇生法を続けます。

4 自然災害 (1)地震が発生した時



初動対応

- ・持ち場周辺の火災発生、被災等の有無を確認（競技会係員全員）
- ・火災の場合、初期消火を開始し、状況を競技会場実施本部に報告する。（初期消火グループ）
- ・避難経路を確認し、避難指示に備える。（避難誘導グループ・その他グループ）
- ・救護所の安全を確保し、負傷者が発生した場合、搬送して応急手当を行う（医事衛生グループ）
- ・震度、震源などの情報を防災情報、インターネット等で収集（競技会場実施本部）
- ・会場がざわつくときは必要に応じ非常放送 A（次ページ）を実施（情報グループ）

（※）競技会場部長は、次のいずれかに該当するときは、各グループに避難指示を行う。

- (1) 消防職員から避難の指示があったとき
- (2) 施設職員から避難の指示があったとき
- (3) 観覧者等の生命等を保護するため、避難すべきと判断したとき

競技の中止が必要な場合

非常放送 B（次ページ）の実施
(情報グループ)



避難場所への誘導及び被害確認
(避難誘導グループ)



避難・被害状況を実施本部に集約（各グループ）、担当場所の安全確認

競技を継続する場合

非常放送 C（次ページ）の実施
(情報グループ)



入場者を落ち着かせる
(避難誘導グループ・その他グループ)



会場設営業者に仮設物の点検を指示
(競技担当)

(※)避難指示の基準

競技会場部長は地震により施設の壁が崩れ、もしくは仮設物の落下又は津波が予想される場合等、現在の場所が安全確保できないときは、各グループに避難誘導を行うよう指示する。なお、震度6弱以上の地震が発生した場合は、災害対策本部が設置されるため、安全確保の実施を呼びかける。

(判断が困難な場合は消防署員に指導を受ける)

状況の確認ができるまでの間、各競技会場に一時避難所を指定し、来場者の安全確保を最優先する。

非常放送A（会場がざわつくとき）

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま地震が発生しましたので、競技を一時中断します。現在係員が被害の状況を調べておりますので、このまま席を立たずに、静かにお待ちください。」

非常放送B（避難の必要あり）

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいまの地震は震度○、震源地は○○県○○付近とみられています。皆様の安全のため、競技会を中止（中断）しております。避難経路に係員が配置しておりますので、係員の指示に従い、落ち着いて、安全の確保を図ってください。」

非常放送C（競技を継続する場合）

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいまの地震は震度○、震源地は○○県○○付近とみられています。引き続き競技は継続いたしますが、今後の状況次第では、競技を中止する場合があります。」

（参考）地震発生前のアナウンス（競技会前に地震等が発生しているとき）

＜式典前＞

「式典の最中に大きな地震が発生した場合は、頭部を持ち物などで保護し、防御姿勢を取ってください。また、避難の際は、出入口に人が殺到すると非常に危険ですので、係員の指示に従って落ち着いて行動するようお願いします。

なお、建物に損害が発生したり、公共交通機関の運行に支障が出るような規模の地震になった場合は、その時点で式典を中止する場合があります。」

＜競技会の運営＞

競技会の開催の可否等については、2 風水害の対応に準じ、競技会場部長は競技担当者を通して、実施本部事務局、競技団体と対応方針を協議する。

(2) 落雷事故の恐れがあるとき



初動対応

- ・雷情報について、無線、ラジオ、防災情報メール、インターネット等で情報収集（実施本部事務局）
- ・避難経路の確認（避難誘導グループ・その他グループ）

（※）競技会場部長は、競技団体と協議し、観覧者等の生命等を保護するため、競技を中心・避難すべきと判断したときは、各グループに競技の中止・避難指示を行う。

競技の中止が必要な場合

非常放送の実施（情報グループ）

「ご来場の皆様にお知らせします。現在落雷の恐れがあるため、競技会を中止（中断）いたします。

屋外にいる方は、安全の確保を図ってください。」

競技の中止が不要な場合

引き続き競技を続行

※必要に応じ続行する旨の非常放送を行う

競技会場付近（屋外）の観客等を安全な場所に誘導（一時避難場所を確認）

※ 施設内から屋外に出ようとする観客等については、留まるよう指示

安全な場所・危険な場所

○ 比較的安全な場所

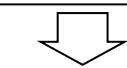
鉄筋コンクリート建築
(競技会場等建物内)
木造建築（例外あり）
車の中

× 特に危険な場所

テント内
仮設観覧席の中
(屋根の有無にかかわらず)
高い木の下

状況を競技会場実施本部に集約（各グループ）

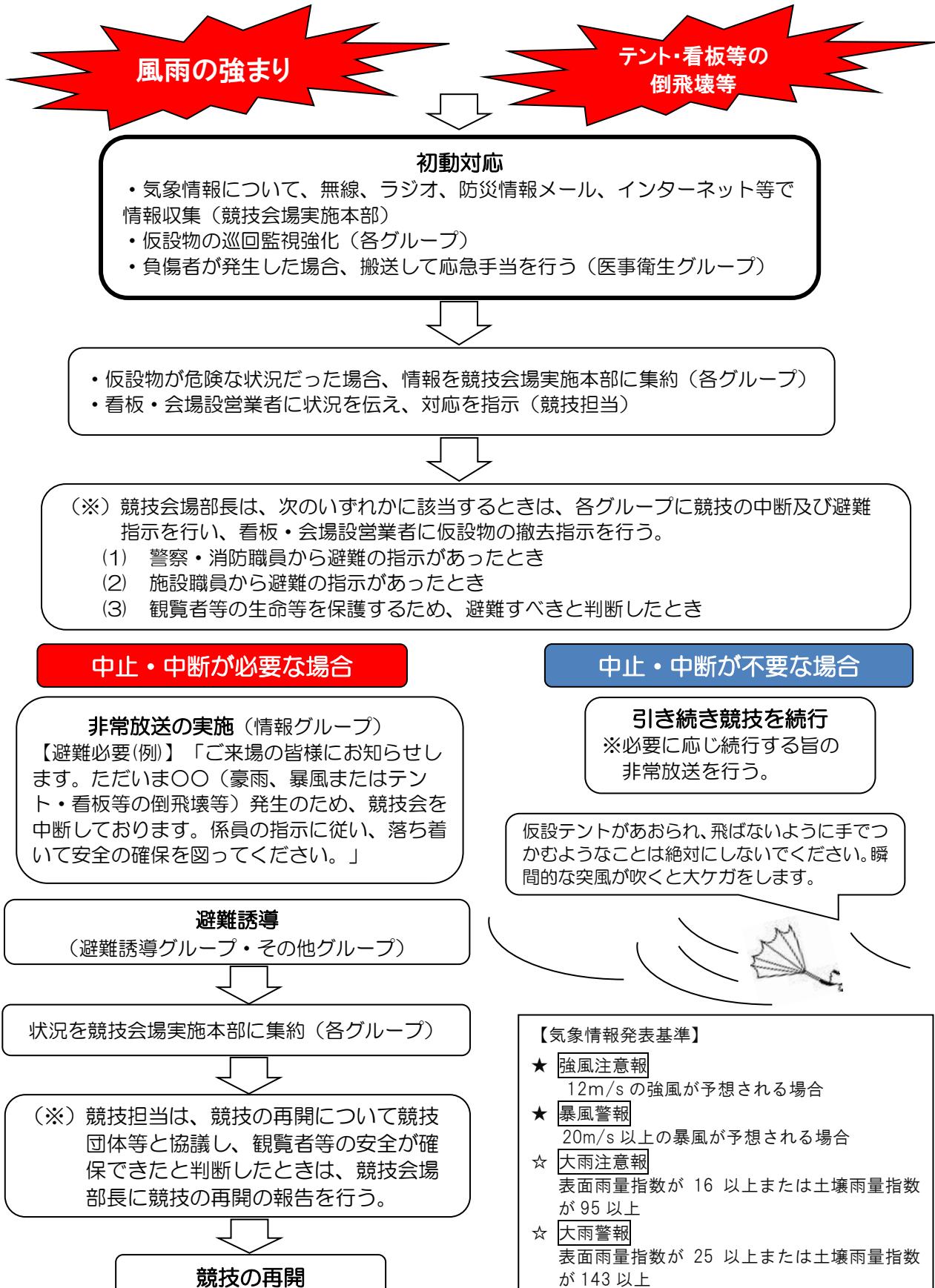
（※）競技会場部長は、競技の再開について競技団体等と協議し、観覧者等の安全が確保できたと判断したときは、各グループに競技の再開指示を行う。



競技の再開

室内競技においては、屋外における選手休憩所、売店等のテントにいる選手・来場者の避難及び安全確保を行うこと。

(3)豪雨・暴風対策（仮設物の撤去等）



5 不審物 (1)不審物を発見したとき



競技会実施本部へ報告（発見者）

初動対応の大原則

- ① 觸らない！② 動かさない！③ 近づかない！



初動対応

- ・不審物の大まかな判別 [爆発物・毒物]
(緊急避難が必要な場合を除く。)
- ・警察・消防等の関係機関へ通報
(会場総務係長) ※重複しても必ず通報
無線等を使用し各班へ連絡
- ・来場者の安全を確保
(情報グループ・避難誘導グループ)
- ・警察の指示に基づき、非常放送の実施
(競技会場部長・会場総務班長)



110番通報内容

- ★ 不審物の状況
(形状、数、臭い、色…など)
- ★ 被害者の状況
(人数、意識、嘔吐、けいれん…など)
- ★ 現場周辺の状況
(多数の人が集まっている、近くに可燃物がある、薬品工場がある…など)
- ★ 通報者の氏名
- ★ 警察官が到着したときの合流場所や目印
- ★ 飛行物体の飛来場所と飛行した方面

不審物の判別ポイント

- ★ 過剰な包装
- ★ 油状のシミ
- ★ コード（配線）が見える。
- ★ 時計の音（カチカチ）
- ★ 液体の音（ガポガポ）
- ★ 袋から粉末が散乱
- ★ 袋やカバンの中のペットボトル等から液体がこぼれている。
- ★ 複数の人が倒れて体調不良を訴える。
- ★ ドローン等（飛行時・落下時を問わず）

（※）競技会場部長は、次のいずれかに該当するときは、各グループに避難指示を行う。

- (1) 警察・消防職員から避難の指示があったとき
- (2) 施設職員から避難の指示があったとき
- (3) 観覧者等の生命等を保護するため、避難すべきと判断したとき

避難が必要な場合

非常放送の実施（情報グループ）

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま場内に不審な物が持ち込まれている恐れがあることが判明しました。皆様の安全のため、競技会を中断しております。係員の指示に従い、安全の確保を図ってください。」



避難誘導・緊急車両の進入路確保

（避難誘導グループ・その他グループ）

※屋外等、避難の必要がない場所においては、
発生場所に近づかないよう、広報する。



避難・被害状況を競技会場実施本部に集約（各グループ）

避難が不要な場合

引き続き競技を続行

避難誘導のポイント

- 〈爆発物〉
- ★ 「落ち着いて行動してください。」と前置きして広報する。
- ★ 「爆発物」、「危険物」と言わず「不審物」と広報する。
- ★ 避難先、ルートを具体的に説明する。
- 〈毒物〉
- ★ 可能な限り風上に避難誘導する。
- ★ ハンカチや服の袖で口を覆って行動する。
- ★ 不審物の臭いを嗅がない。
- ★ 入れ物のふたを開けない。

(2) 爆破予告電話がかかってきたとき

爆破予告電話

電話を受ける（競技会場実施本部、施設管理者）

☆「電話対応のポイント」に基づいて対応



110番通報及び消防署に連絡 (情報グループ)



初動対応

- ・無線等を使用して各グループへ連絡
(情報グループ)
- ※冷静な対応を求める。
- ・避難経路を確認し、避難指示に備える
(避難誘導グループ・その他グループ)

電話対応のポイント

- ①電話がきた時刻、切った時刻をメモする。
- ※相手の電話番号がわかる場合はメモする。
- ②内容をそのままメモする。
- ③筆談等で、情報グループに爆破予告電話がきていることを伝える。
- ④要点を聞き取る。
 - ・要求内容
 - ・爆発物の場所
 - ・爆弾の種類（時限式？ダイナマイト？）
 - ・いつ爆発するのか？
 - ・身の上（氏名、職業、年齢など）
- ⑤会話を引き伸ばす（聞こえない振り）
 - ・通話内容を復唱する。
 - ・質問を繰り返し確認する。
- ⑥電話を掛けなおさせる。

（※）競技会場部長は、次のいずれかに該当するときは、各グループに避難指示を行う。

- (1) 警察・消防職員から避難の指示があったとき
- (2) 施設職員から避難の指示があったとき
- (3) 観覧者等の生命等を保護するため、避難すべきと判断したとき

避難が必要な場合

必要に応じて非常放送の実施 (情報グループ)

【非常放送(例)】

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま場内に不審物が持ち込まれている恐れがあることが判明いたしました。皆様の安全のため、競技会を中断しております。移動経路に係員が配置しておりますので、係員の指示に従い、落ち着いて安全の確保を図ってください。」



避難誘導 (避難誘導グループ、その他グループ)



避難が不要な場合

引き続き競技を続行

避難誘導のポイント

- 〈爆発物〉
- ★ 「落ち着いて行動してください。」と前置きして広報する。
 - ★ 「爆発物」、「危険物」と言わず「不審物」と広報する。
 - ★ 避難先、ルートを具体的に説明する。

避難・被害状況を競技会場実施本部に集約（各グループ）

(3)爆発・異臭事故が発生したとき

事故発生

競技会場実施本部へ通報（発見者）



警察・消防等の関係機関へ通報し（重複しても必ず通報）
無線等を使用して各グループへ連絡（競技会場部長）



初動対応

- ・持ち場周辺の火災発生、被災等の有無を確認（競技会係員全員）
- ・火災の場合、初期消火を開始し、状況を競技会場実施本部に報告する。（初期消火グループ）
- ・避難経路を確認し、避難指示に備える。（避難誘導グループ・その他グループ）
- ・救護所の安全を確保し、負傷者が発生した場合、搬送して応急手当を行う。（医事衛生グループ）
- ・会場がざわつくときは必要に応じ非常放送を実施（情報グループ）

※危険な場合は、自らの安全を優先させ避難すること



（※）競技会場部長は、次のいずれかに該当するときは各グループに避難指示を行う。

- (1) 警察・消防職員から避難の指示があったとき
- (2) 施設職員から避難の指示があったとき
- (3) 観覧者等の生命等を保護するため、避難すべきと判断したとき

避難が必要な場合

非常放送の実施（情報グループ）

【避難必要（例）】

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま〇〇で爆発（異臭）が発生しました。皆様の安全のため、競技会を中断しております。係員の指示に従い、落ち着いて安全の確保を図ってください。」



避難誘導・緊急車両の進入路確保

（避難誘導グループ・その他グループ）

※屋外等、避難の必要がない場所においては、発生場所に近づかないよう、広報する。



避難・被害状況を競技会場実施本部に集約
(各グループ)

避難が不要な場合

非常放送の実施（情報グループ）

【避難不要（例）】

「ご来場の皆様にお知らせします。ただいま〇〇で爆発（異臭）が発生しましたが、収まりましたので、心配ございません。引き続き競技をご覧ください。」

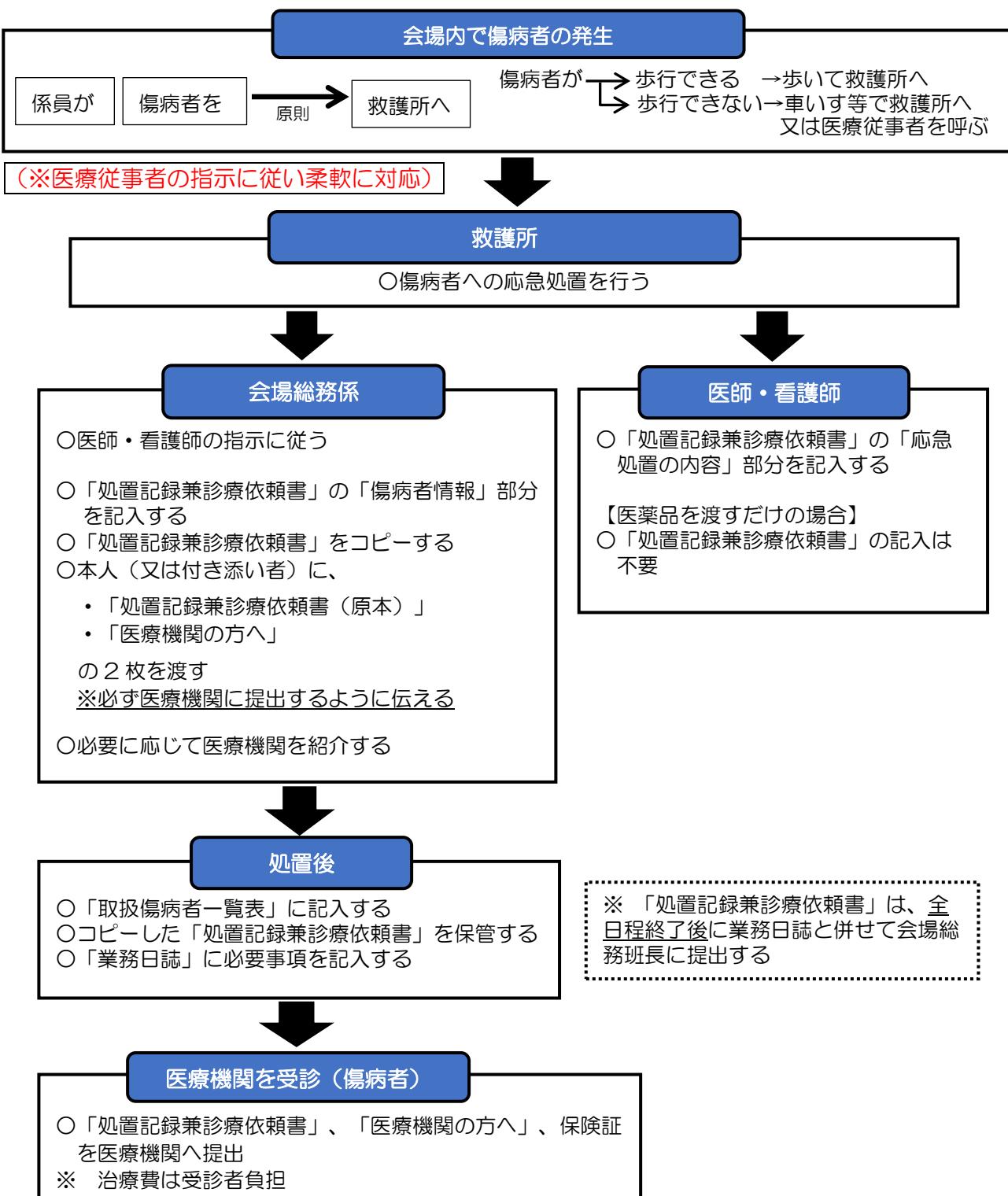


引き続き競技を続行

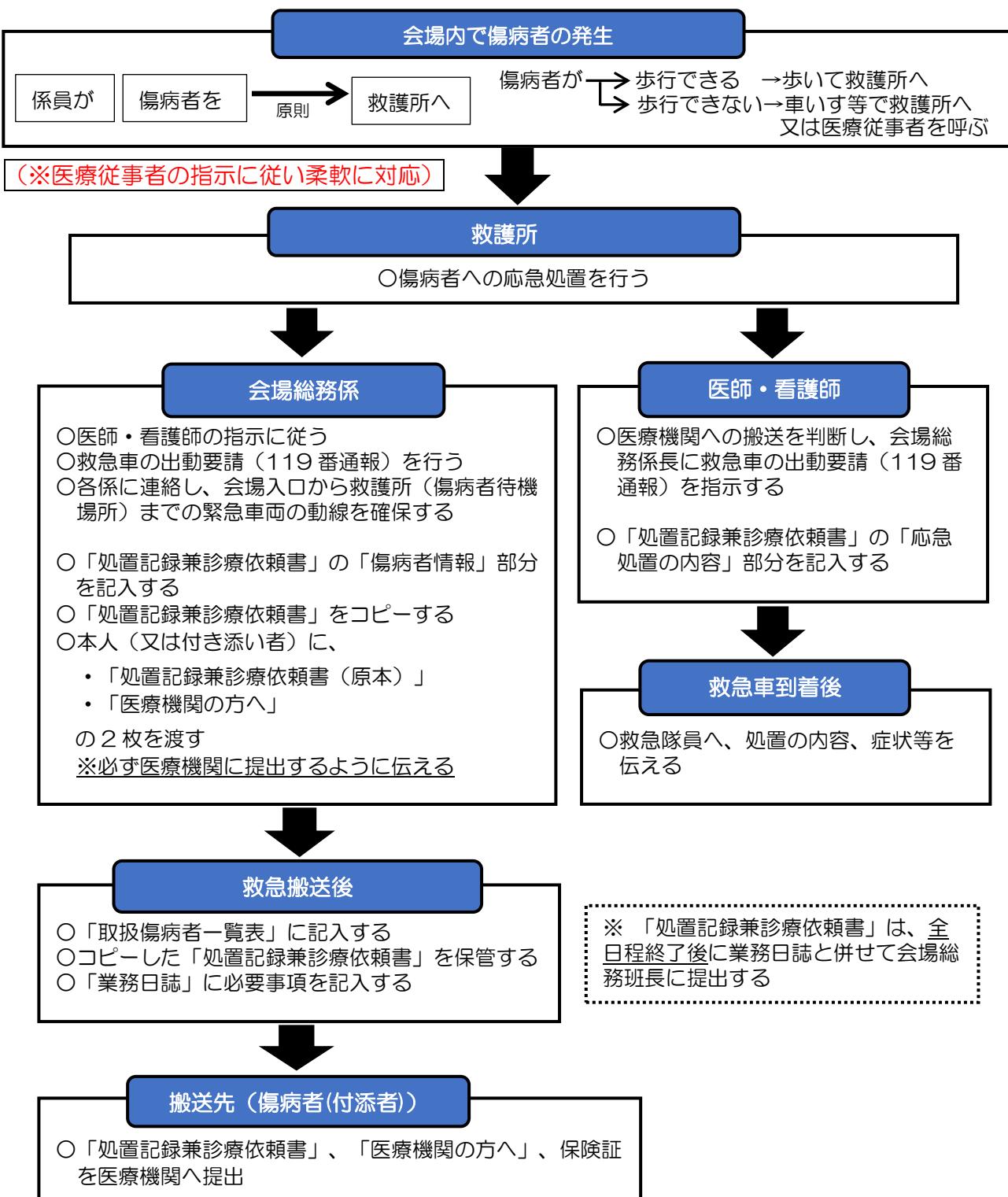
避難誘導のポイント

- ★ 「落ち着いて行動してください。」と前置きして広報する。
- ★ 「爆発物」、「危険物」と言わず「不審物」と広報する。
- ★ 避難先、ルートを具体的に説明する。
- ★ 可能な限り風上に避難誘導する。
- ★ ハンカチや服の袖で口を覆って行動する。

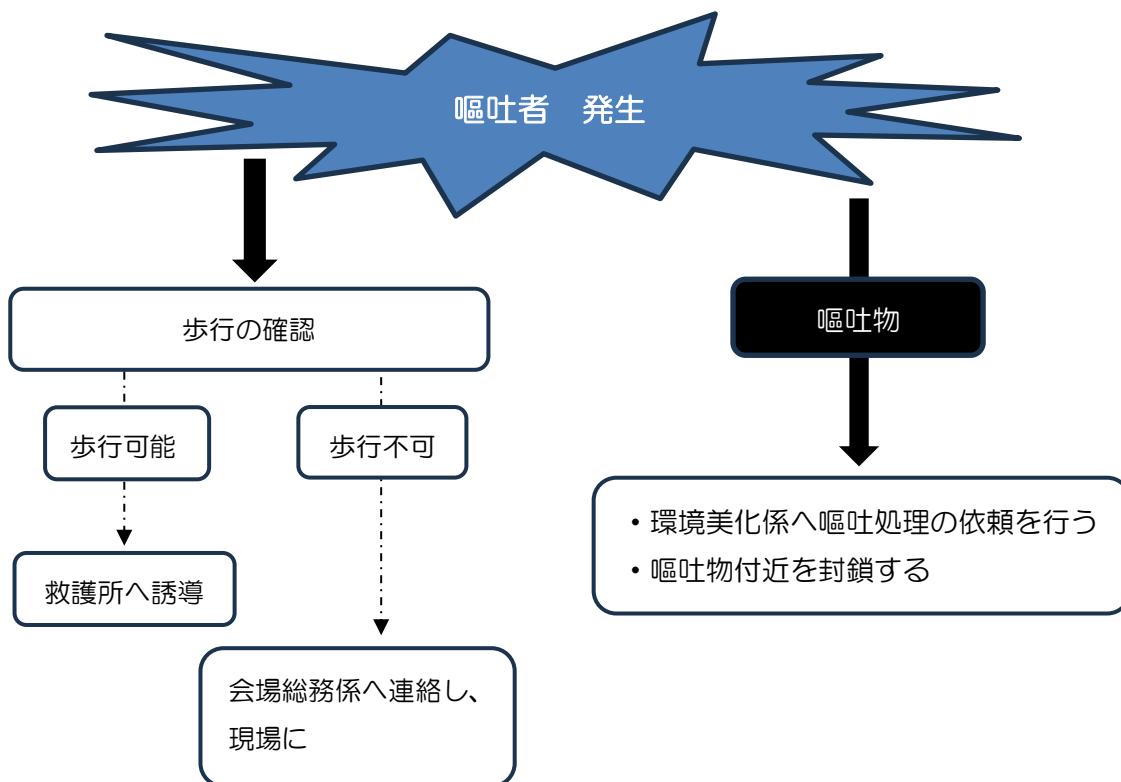
6 医事 (1) 傷病者が発生したとき（救急搬送しない場合）



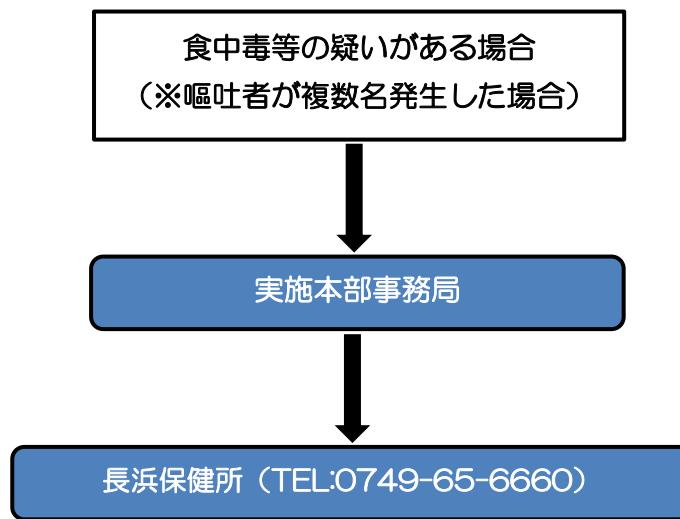
(2) 傷病者が発生したとき（救急搬送する場合）



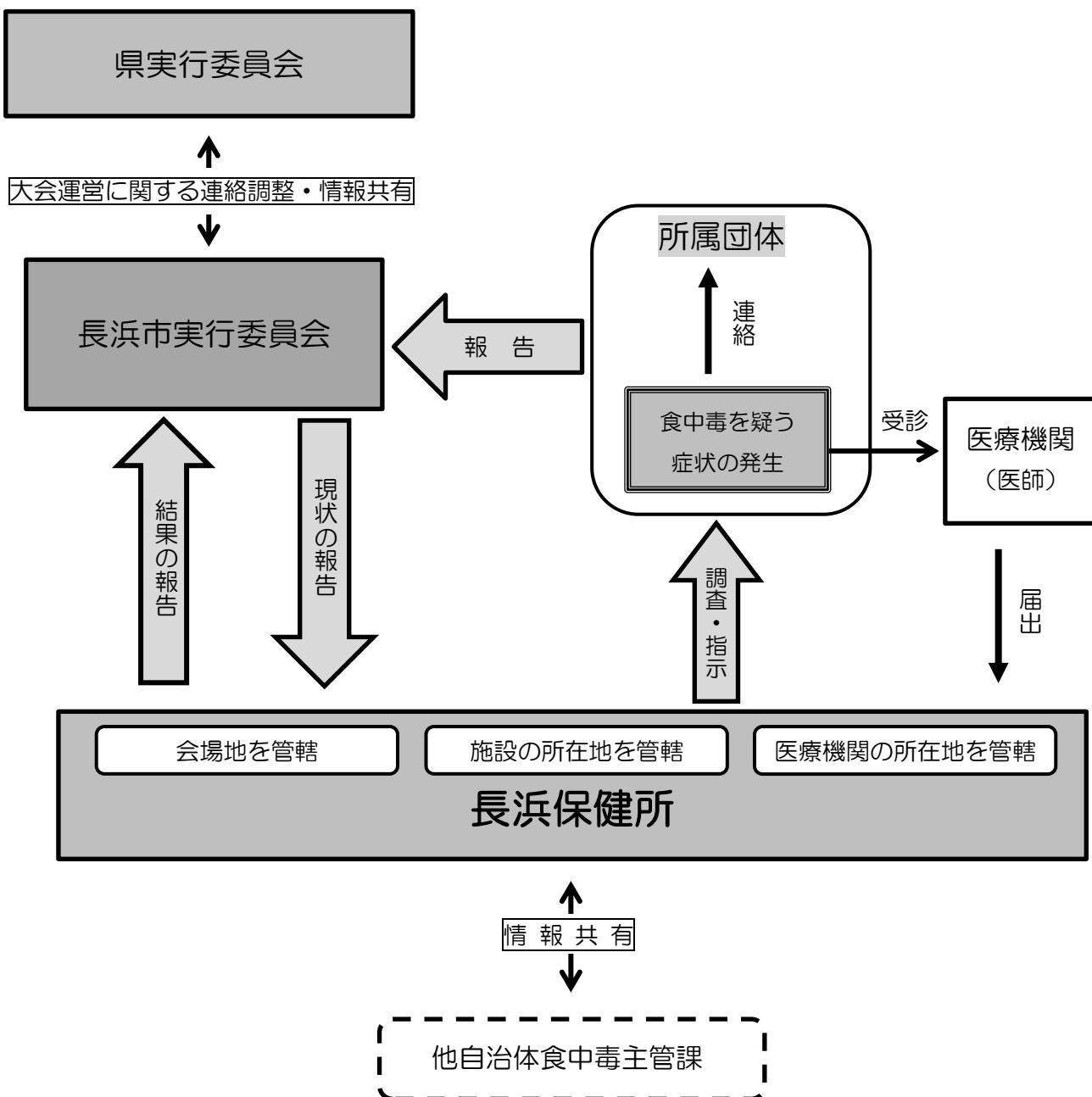
(3) 嘔吐者が発生したとき（食中毒等の疑いを含む）



※その後の対応は、緊急時対応マニュアル
P 14・15 「傷病者が発生したとき」を参照

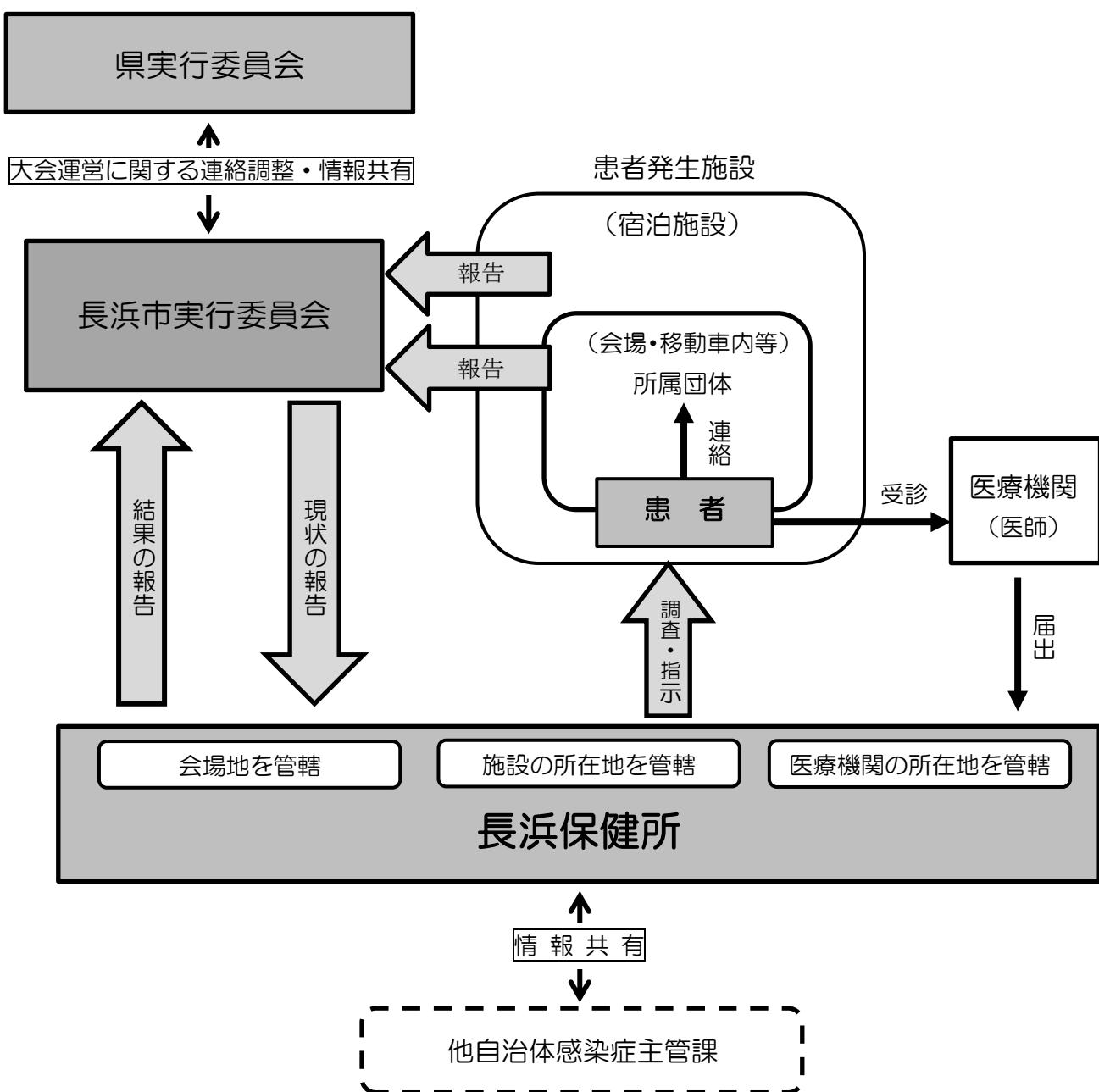


(4) 食中毒（疑いを含む）発生時の緊急連絡体制



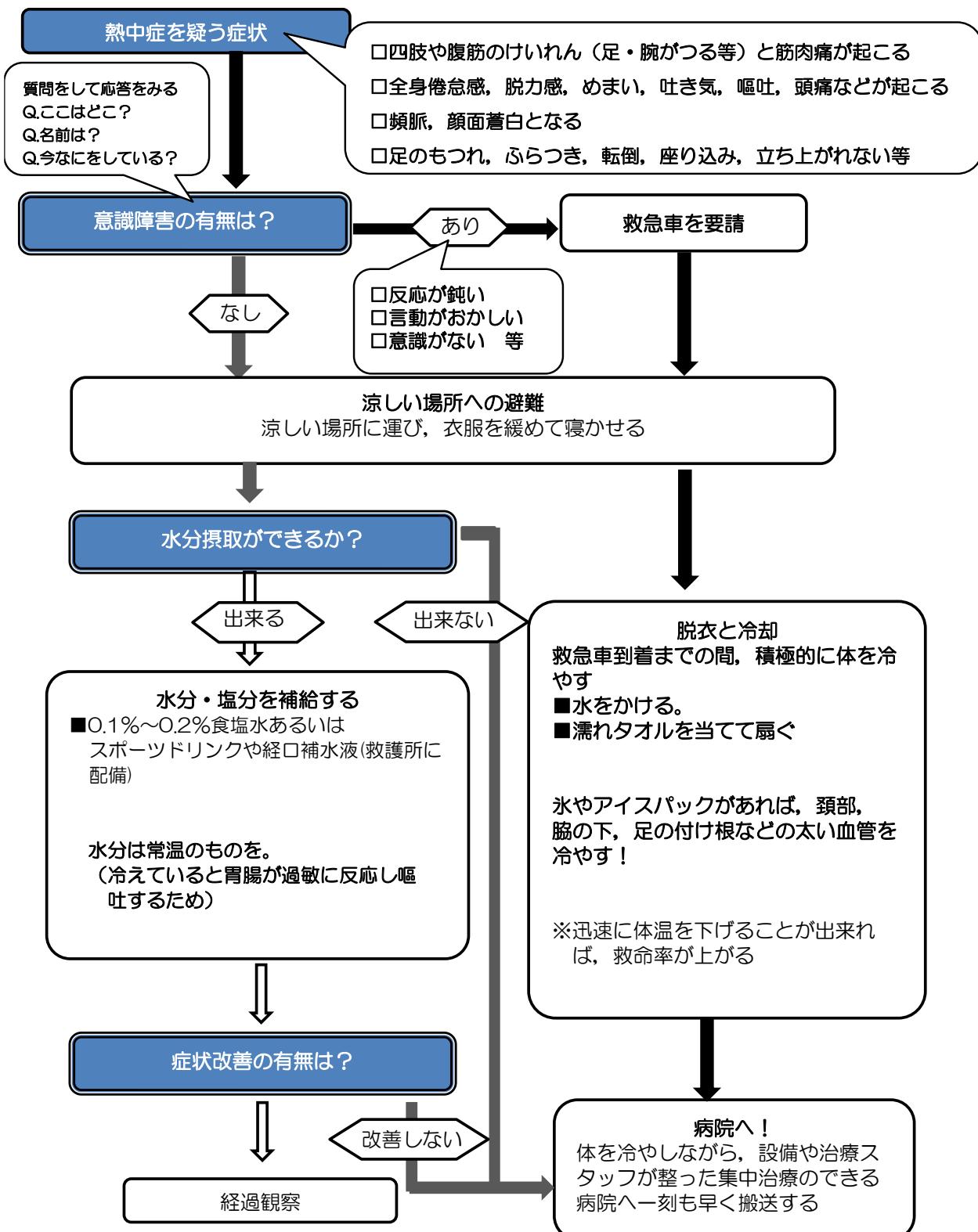
- ◆患者発生施設又は患者所属団体は、直ちに長浜保健所及び長浜市実行委員会に報告する。
- ◆長浜市実行委員会は、上記報告のほか実施本部等を通して食中毒に関する情報を得た場合、直ちに長浜保健所に通報する。
- ◆大会関係者に対して、食中毒が疑われる情報を入手した場合、患者を医療機関に受診させるとともに、所管の保健所に連絡するように周知する。

(5) 感染症（疑いを含む）発生時の緊急連絡体制



- ◆ 患者発生施設（宿泊施設・会場・移動車内等）又は患者所属団体は、直ちに長浜市実行委員会に報告するとともに、感染症法に基づき、長浜保健所に報告する。
- ◆ 長浜市実行委員会は、上記報告のほか実施本部等を通して感染症に関する情報を得た場合、直ちに長浜保健所に報告する。
- ◆ 感染症が疑われる患者には、速やかに医療機関を受診させるとともに、長浜保健所に連絡するよう、宿泊施設及び所属団体等に周知する。

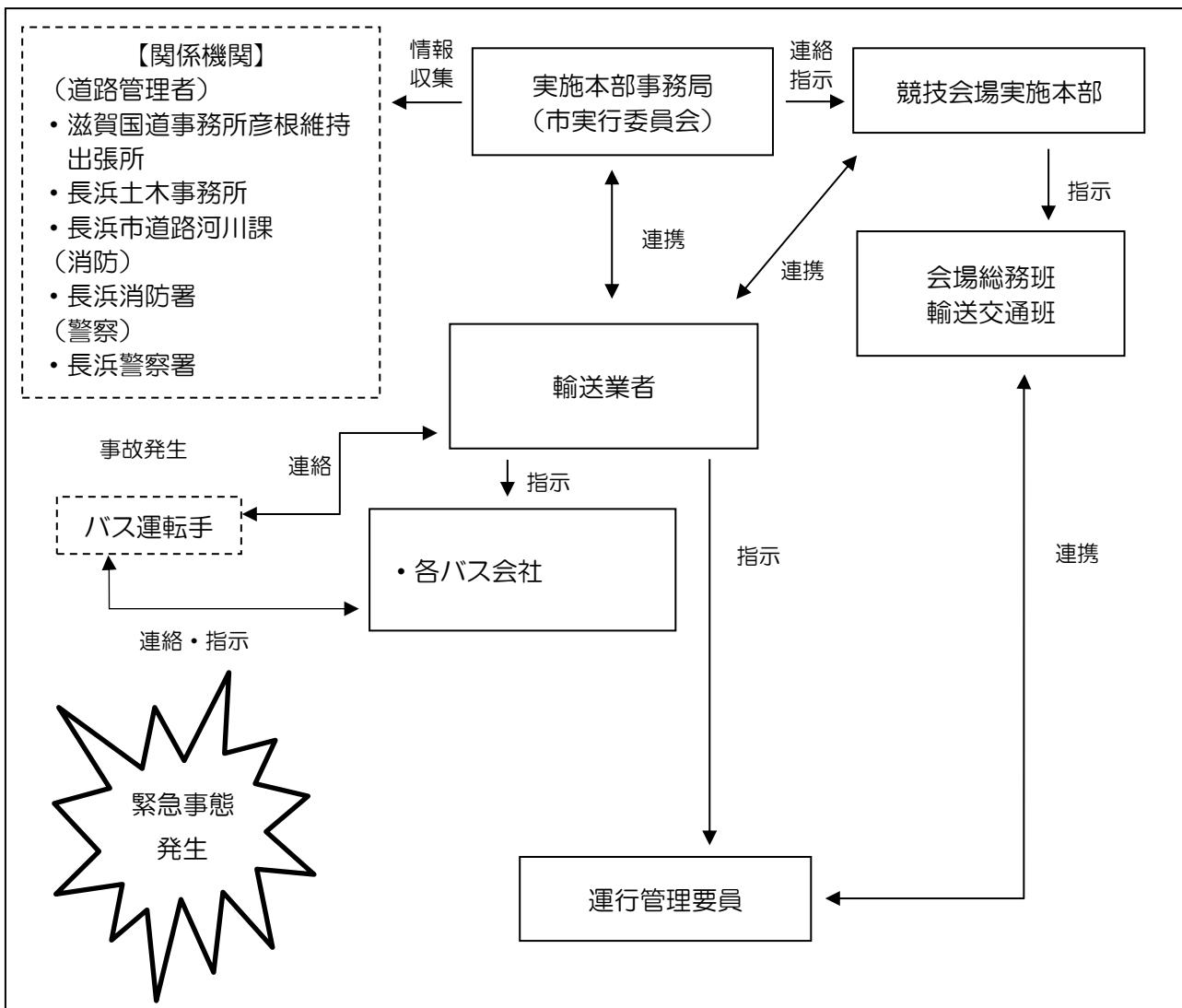
(6) 热中症が発生したとき



※独立行政法人日本スポーツ振興センター「熱中症を予防しよう—知って防ごう熱中症—」参考

7 緊急時輸送交通マニュアル

1 緊急時の情報伝達フロー



2 その他輸送に支障生じた場合

(1) 道路渋滞

事故等による渋滞に巻き込まれ大幅な遅延が見込まれる場合、輸送業者から実施本部事務局へ報告を行う。

(2) 車両の故障等による運行障害

バスの故障又は交通事故等により運行に支障が生じた場合、連絡を受けた輸送業者が予備車両又はタクシーの配車により対応する。

8 防災・防犯チェック表

■業務内容

火災等の災害や競技会場での犯罪を防ぐため、各係員は担当場所において、原則として1日3回（業務開始前・昼頃・競技終了後）次の項目を確認します。

担当		担当場所	確認項目
会場総務班	会場総務係	<ul style="list-style-type: none"> 実施本部 大会役員関係諸室 競技団体関係諸室 その他諸室 	<p>【火気の管理】</p> <p><input type="checkbox"/>火気の使用はあるか。それは予定どおりか。</p> <p><input type="checkbox"/>ゴミ・可燃物は整理整頓されているか。</p> <p><input type="checkbox"/>（指定喫煙所）可燃物が置かれていなか。</p> <p><input type="checkbox"/>（指定喫煙所）灰皿に水が入っているか。</p>
	会場受付係	<ul style="list-style-type: none"> 関係者受付 総合案内所 	<p>【避難対策】</p> <p><input type="checkbox"/>仮設物で避難経路がふさがれていないか。</p> <p><input type="checkbox"/>避難経路に物が置かれていなか。</p>
競技式典班	会場警備係	<ul style="list-style-type: none"> 競技会場 練習会場 	<p>【防火・避難施設、消防用設備の維持管理】</p> <p><input type="checkbox"/>防火戸・防火シャッターは使用可能な状態か。</p> <p><input type="checkbox"/>消火器・消火栓の場所は確認したか。</p> <p><input type="checkbox"/>消火器・消火栓は使用可能な状態か。</p>
	記録速報係	<ul style="list-style-type: none"> 記録本部 速報掲示場 	<p>【防犯対策】</p> <p><input type="checkbox"/>関係者以外立入禁止区域にIDカードを所持していない不審者はいないか。</p> <p><input type="checkbox"/>会場内、周辺で迷惑行為はないか。</p> <p><input type="checkbox"/>不審な車両は駐車していないか。</p> <p><input type="checkbox"/>不審物・危険物はないか。</p>
	式典表彰係	<ul style="list-style-type: none"> 式典会場 筆耕関係諸室 	<p>【救急救命対策】</p> <p><input type="checkbox"/>AEDの設置確認。</p>
おもてなし班	輸送交通係 駐車場係	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場 バス乗降場 	<p>【終業時の点検】</p> <p><input type="checkbox"/>火気はないか。</p> <p><input type="checkbox"/>不要な電源が入ったままではないか。</p>
	おもてなし・弁当係	<ul style="list-style-type: none"> 休憩所 売店 ドリンクコーナー 弁当引換所 	

※ 異常時には、班長の指示を仰ぎながら、各係が責任をもって対応します。

9 競技会場避難経路図

滋賀県立長浜ドーム屋内グラウンド 避難経路図・喫煙所について

